

命の大切さや平和の尊さを次世代へつなぐ象徴

# 磐田平和の灯 ともしび

終戦から76年が経過し、市民の多くが「戦争を知らない世代」となっています。地域や世代を超えて一人ひとりが命の大切さや平和の尊さを考え、想いを次世代につないでいくための象徴として平和のモニュメントを制作しました。

①総務課（本庁舎3階）

☎ 0538-37-4803 FAX 0538-37-4829



## 制作者の想い



くまくら あい  
熊倉 愛 さん

新造形創造館  
吹きガラス専任講師・作家

平和とは、平和を願う人々の気持ちと戦争という悲しい過去を忘れない気持ちの積み重ねによって保たれていると思います。

作品は、吹きガラスの性質を利用して何層にも重ね合わせた炎の形とし、色は赤などではなく、白（平和を願う人々の気持ち）と黒（戦争の悲しい過去）にすることによって、見た人が一瞬でもなぜだろうと立ち止まって、平和と戦争を考えるきっかけになるよう制作しました。

## モニュメントについて

磐田市新造形創造館の吹きガラス専任講師・作家の3人がデザイン案を作成し、市内小学6年生や関係者などの意見を参考にして、くまくらあいのデザインに決定しました。

白色と黒色が折り重なったガラス製。白色には「平和を願う人々の気持ち」を、黒色には「戦争という悲しい過去を忘れない気持ち」が表現されています。

広島市の平和記念公園にある「平和の灯」の火を市が譲り受け、その灯を制作過程で使用し、平和の想いを込めた市独自のモニュメントです。

なお、磐田平和の灯は、本庁舎1階市民ホールで6月30日(休)まで展示後、中央図書館など各地区を巡回する予定です。

# モニュメント完成まで

市内小学6年生へモニュメントデザイン案(3案)について、アンケートなどを実施しデザインを決定  
広島平和記念公園で平和の灯を譲り受ける

# 除幕式参加者の平和への想い

※中学校名は参加当時

平和とはみんな笑顔で何不自由なく毎日を通じ  
せることだと思えます。生きていることに感謝し  
て一日一日を大切に過ごしていくことが平和につ  
ながっていくと思えました。

小池 枝穂理(磐田第一中)

この式に参加し、平和は当たり前のことでは  
なく一人一人の努力で守っているものだと思います。  
自分も小さなことでも良いから、平和  
を保つことができるよう頑張ろうと思います。

蒔田 舜介(福田中)

灯を参加者で繋いだ後、制作用の炉へ火入れ



戦争について知るきっかけとなる貴重な経験に  
なりました。戦争は誰も幸せにすることはできま  
せん。同じ過ちを繰り返さないよう多くの人々に  
知らせていきたいです。

多田 杏羽(向陽中)

日本は平和な国だからこそ平和とは何かを考  
え、人類の平和実現に向けて進んでいくべきだ  
と思います。平和という幸せを広げていくこと、  
平和を願う想いを大切にしていきたいです。

大原 孝太(竜洋中)



今は戦争を知らない人がほとんどなので、平和  
の尊さを伝えていくことが大切だと感じました。  
幅広い世代の方が「磐田平和の灯」を見て平和に  
ついて考えるといいなと思います。

安渡 京杜(神明中)

当たり前のように平和な日常を暮らしていま  
すが、式を通じ、平和は尊いことだと思いました。  
戦争や新型コロナウイルスで困っている国が少しでも減  
り、平和な世界に近づいてほしいです。

飯田 光里(豊田中)

モニュメント完成

モニュメントの除幕式



平和な世の中にしていくには、お互いを尊重し、  
多様性を認め合える社会にすることが大切と思  
います。自分自身でできることを考え、平和につな  
がる行動や工夫をしていきたいです。

梅村 悠乃(南部中)

戦争を知る人たちが少なくなり、今一度、戦  
争について考えなければと思います。尊い人た  
ちの犠牲をなかつたことにせず、今の「普通」  
のありがたさを皆にも実感してほしいです。

豊里 葉乃(豊田南中)

3月 3月

11月

11月 8月